

事務事業評価における総括

部 局 名	農業委員会事務局	記入責任者	谷川 広志
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>農業委員会事務局の事務事業数は、政策的事業 1 事業を含め、12 事務事業となっており、全ての事業が順調に進捗しています。</p> <p>「遊休農地の解消及び有効利用に係る事務」については、令和 2 年度の農地利用状況調査の結果、市内全域の遊休農地面積としては、34.2 ヘクタールとなっています。</p> <p>「違反転用対策」については、長期経過してしまった案件 1 件については是正することができました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「違反転用対策」についてのうち、農地に残土等が積まれてしまい長期経過してしまった違反案件については、近隣地権者の協力を得ることができた結果、是正することができました。</p> <p>違反転用対策としては、農地パトロールを実施し、初動対応による新たな違反予防や早期解消を図っていく必要があります。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>農業委員会事務局については、全ての事業が概ね順調に進捗しているものの、政策・施策指標としている耕作放棄地面積は農業者の高齢化や後継者不足などにより増加傾向にあります。</p> <p>引き続き、「遊休農地の解消及び有効利用に係る事務」等の業務を継続し、耕作放棄地の抑制に努めていきます。</p> <p>令和 3 年度は、通常業務等の業務の効率化を図り、限られた人員・コストの中で効率的に仕事を行っていく必要があります。</p>			